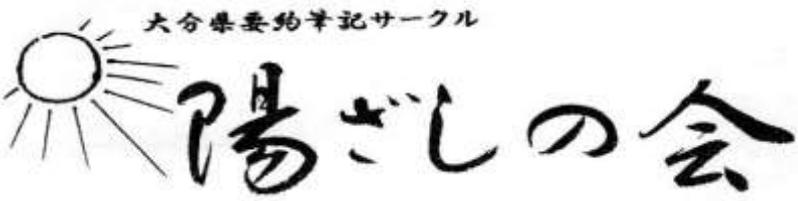


| | |
|---|---|
|  | <p>第 90 号 発行日 令和元年 11月 16日 発行所 大分県要約筆記サークル 「陽ざしの会」 発行者 山口 智子 事務局 久保田安紀 (HP http://hizasi.web.fc2.com)</p> |
|---|---|



「要約筆記」をどう伝える？

～斉藤りえ先生講演会での貴重な体験～

9月14日、大分県難聴者協会主催の第2回大分県難聴者福祉講演会がホルトホールで開催されました。その際、要約筆記ブースを設置し広報活動を行ったときの体験談をご紹介します。

斉藤りえ先生の講演会で要約筆記ブースにて広報活動を行いました。ほぼ一人でいたにもかかわらず、初めてのことで、何もできずに座っているだけだった私に、ある高齢の男性が、「要約筆記って何？」と質問してきました。健聴者でしたので、「要約筆記とは、話し言葉を要約し、それを文字で表現することです。」と型通りの説明をしましたが、ピンとはきていないようでした。そこで、言葉を変えたり、ホワイトボードを使って何度か説明を試みました。その結果、何とか相手の方にも分かってもらえたようです。

初めて出会った、お互いを何も知らない方に、要約筆記をイメージさせることは難しく、ホワイトボードやタブレットなどの道具を使って実際にやって見せたりすると理解が早いなと感じました。

要約筆記者となるには、道具の使い方を含め、様々な経験や、より一層の要約筆記の勉強が必要だと感じた出来事でした。



(弘蔵 祐子)

地道な広報活動は
大事だね



要約筆記ブースの様子（のぼりの色も明るくきれいで目立ちます）

要約筆記に興味を
持ってくれたのは
うれしいね！



「できること」「できるだけ」「できる時に」 **お互いの立場を思いやって**

要約筆記体験会

in あすぴあフェスタ 2019

10月27日（日）あすぴあフェスタに参加し、今年度の要約筆記周知事業の第2ラウンドを行いました（第1ラウンドは9月14日「斉藤りえ氏講演会」の特設ブースにて開催）。この周知事業は平成23年度より実施されています。

「陽ざしの会」のリーフレット（旧）の作成・配布、耳マークの設置状況の調査から始まり、その後パネルディスカッション・講演会などを開催し、要約筆記の周知をしてきました。その一環として平成24年からイオンイエローシートキャンペーンにも参加をしました。しかしながら手話の認知度に比べると要約筆記はまだまだ不十分です。どうすればもっと要約筆記を知り、利用してもらえるか考えたときに、大きな講演会を開催し来てもらうより、機会があればこちらから出向きもっとアピールをしようということになったのです。その第1回目が「コンパルホール博覧会2019春」への参加でした。そして今回大分県聴覚障害者協会のご協力のもとあすぴあフェスタに参加することができました。易しい筆談から入り要約筆記の紹介、そしてその先の利用。延いては養成講座の受講へと繋がっていくことを願い周知事業を今後も続けていけたらと思います。

（久保田 安紀）



10月27日福祉センターで開かれた「あすぴあフェスタ」の要約筆記周知活動に参加しました。部屋の前に旗を掲げたものの、足を運び入れてくれる人がいるのか心配でした。ところが、要約筆記の仕事に興味があるテープ起こし経験者、大会で実際に字幕を見て要約の活動に関心をもった方、聞こえに不自由している方へのアプローチを尋ねる防災士の方が来て、話を聞いてくださいました。

残念ながら要約筆記養成講座は終わったばかりでしたが、周知活動を続けることで仲間が増え、利用してくれる方が増えることを願います。聞こえにくいことは情報不足になり、コミュニケーション障害にもつながります。そこをどう自分がサポートできるか、活動の中で解答を見つけないと思いました。



(柳井 紀子)

予想を上回る来場者で、要約筆記に興味を持っていただいたことをとても嬉しく感じました。災害が頻発していることから、聞こえの不自由な方への情報保障の必要性を訴える方もいらして共感しました。

ある男性は、先日の講演会で要約筆記を見て興味を持たれたとのこと。「是非、私たちのお仲間に」と誘ったところ、何とその方、講演会に先立ってごあいさつされた方でした。そのことに気が付かず失礼いたしました！男性の仲間も増えてほしいですね。

(森崎 百合子)

UD 手書き Pro
無料のソフトです



次のイベントもお楽しみに!!

たくさんのご来場



陽ざしの会にも
遊びに来てね

ありがとうございました!!